ダイニブ
 カ クダ

 第二部:
 書キ下シ

(1:1オ)

ジンジャカウベンギ ジョ神社考辨疑ノ叙。

コノニステンスカッフネンステンカフウカウス コレニ系テー、間を光識ノ(1:1ウ) 巫祝、 カラステー、カウステー、アドラ横行ス。コレニ系テー、間を光識ノ(1:1ウ) 巫祝、 虚ヲ課テ²、古ヲ破ル。好事ノ愚俗、邪ニ駕シテ、眞ヲ失フ。余ヤ、身、犬馬ニ類ジ、ナイ、カチュウ オナ ス 夏蟲ニ同ジ。多癖ニシテ渓架ニ隠レ、餘喘、禅誦ニ寄ス。本ヨリ、詞筆ニ拙キトイヘドモ、同遊、コトヲ起シ、コノ篇ヲ述セシム³。懼恥ラクハ、微管ノ闚フトコロ、 情治ナルヲ得ズ。寔ニ、火ヲ救フノ薪ヲ抱クモノナリ。

シャウトクロクヒノエサルチュウシュンヒ ウンセキダウジャクホンショ 正徳六丙申仲春日□□雲石堂寂本書』

¹ This character (Mor. VIII: 27856) has many readings, amongst them *shitagau* and *yoru*, which seem the best options in this context.

² A compound 課虚 is not attested in the dictionaries. The ordinary glosses of the character 課 are *hakaru* or *kokoromiru*, and do not accommodate the *okurigana hi - te*. We have, therefore, decided to ignore these and transcribe *hakarite*. Cf. underneath, notes 24 and 76.

³ The *okurigana* specify *se-shi-mu*, so the character cannot be read *nobu* (-/2).

『神社考辨疑』巻ノ上」

『神社考』ノ序ニ曰ク、「ソレ、本朝ハ神國ナリ。神武帝已来、王道、惟ニ弘ル。〇

「神社考』ノ序ニ曰ク、「ソレ、本朝ハ神國ナリ。神武帝已来、王道、惟ニ弘ル。〇

「カーウセイシンド
中世寝4微ニシテ、佛氏、隙ニ乗ジテ、カノ西天ノ法ヲ移シ、ワガ東域ノ俗ヲ変ズ。

ロウダウ
王道、スデニ衰へ、神道、漸廢ル。」

論ジテ日ク、「惟レバ、本朝、神代ヨリ人代ニ及テ、荒洪尚シ。域、東海ニ絶シ、俗、異道ナシ。神祇霊妙ニ、人民淳 蕭ナリ。應神天皇ノ馭寓ニ至テ、百濟ヨリットのでは、本朝始テ異國ノ風ヲ聞ク。ココニ、仁義ノ名ヲ知リ、爾後三百餘年ヲ歴テ、大きがイデンワウットキ、百濟、佛像經論ヲ貢ス。コノトキ、物部ノ尾興、中臣ノ鎌子ガゴトキモノ、愚執ニシテ、相怪ミ、コレヲ拒ムコレアルトイヘドモ、蘇我ノ稲自ニ賜ヒ、コレヲを奉べ。ツヒニ、豊聡耳王子、大ニ國界ヲ興シ、風ニ響フ。ソレ、治病ノ藥ハ、邑中ノがニアラズ、希世ノ珍ハ、遠異ノ國ニ出ゾ。モノ、異域ニ生ジテ、利、失セズ。道、株式のウニ出テ、化、隔ナシ。聖道、方ナク、神化、外ナキナリ。ナンゾソレ、西天東域、ただり、異ルヲ言ンヤ。モシ異域ノ教ヲ嫌ハバ、スナハチ、仁義ノ教、本朝ニ、行べた、た。シカレドモ、儒、先ニ来テ、本朝ヲ変ズ。ナンゾソレ、ミゾカラ・慮・ラズヤ〇

エ道(1:3才)、スデニ衰へ、神道、が、廢ルト言フモノ、抑コレヲ思ハズ。

* 間ク、ソレ聖人ノ道ヤ、善ナキト云フコトナシ、ト。佛教、ナンスレノモノトスルヤ。ソノ
ジョモン ゴカイジュウゼン 初門、五戒十善ヲモテ、人ヲ導ク。佛、悪ヲ勧メズ。大観シテ、正法ヲモテ、治ニ順
ズ。書ニ云ザルヤ、『善ヲナスコト 同 ラザレドモ、同ク治ニ帰ス』、ト。『宋ノ文帝、

⁴ This character must be interpreted as 浸; see "Preface *Honchō jinja-kō*," note 11.

カショウシ イヒ イハ ダマタマガンエンシ ソウヘイ ロン アラワ ミ ブッポフ ハッメイ ハナハ 何尚之ニ謂テ曰ク、「 適 顔延之、宗炳ガ論ヲ著スヲ見ルニ、佛法ヲ発明シテ、 甚 ダ理アリトナス。モシ率土ノ濵ヲシテ、皆、コノ化ニ感ゼシメバ、朕ハ、スナハチ、拱ヲ タバ、スナハチ、十人淳謹二、千室ノ邑、百人、十善ヲ修セバ、スナハチ、百人和睦 フウケウ モ カンウ シフ ヘンコオクセン ゼンニンピナクマン セン。コノ風教ヲ持チ、モテ、寰宇ニ周⁶セバ、編戸億千、スナハチ、善人百万。ソレ、 コクー善ヲ行スルトキハ、スナハチ、一悪ヲ去ル。一悪ヲ去ルトキハ、スナハチ、一刑 ヲ息ム。陛下ノ言、坐シテ、太平ヲ致ストハ、コレナリ」。』 『呂夏卿ガ曰ク、「小人、刑 ヲ畏レズシテ、地獄ヲ畏ル。モシ天下ノ人ヲシテ、コト、大小トナク、因果アルヲモテ、 ァヘ 敢テミヅカラソノ心ニ欺カズ、侵凌争奪ノ風ヲ少ナクセシムルトキハ、スナハチ、アニ 刑ヲ措テ、極治ノ世トナラザランヤ。コレ佛教、』王政ニ裨クルアル(1:4オ)ハ、古賢 ノ論ズルトコロ、見ツベシ。コレニ繇リテ、本朝真化以来、世々王公卿士、心ヲ傾ケ テ、コレヲ遵奉シ、金刹玉盤、櫛ノゴトクニ 峙 チ、国家ヲ鎮押シ、天災ヲ撃チ、人過ヲ が、メウギーダウェーモット、フクデン、アオー・クイヘイ・バンミン・ジュンクワー・アラー 消シ、人ノ情偽ヲ蕩シ、尤モ福田ト仰ぐ。天下ノ太平、万民ノ淳化、アニ、コレニ在ザ ランヤ。本朝、古 ヨリ、異域相襲コトアタハズ。モシ、間々、臣士ノ勢 ヲ争フコトアリ トイヘドモ、ナホ、王者ニ奉ジテ、ソノ位ヲ奪フコトヲナサズ。万民、移ラズ堵ヲ安ズ。 王道ノ至治ニ属スルユヱンナリ。カツ、神道ニオケルヤ、ミヅカラ、コノ篇ニ載スル ジンジャ キョタ ホルケ アジカ ネクナ 神社ノ居多ノナカ、佛ニ 与ラザルモノ、鮮カラズトセズ。(1:4ウ)佛ノ神ニオケルヤ、 高スルニ本ヲモテシ、増スニ徳ヲモテス。愈盛ニ、愈顕ル。天下ノ神社ノ盛ナルヤ、 ソノ佛法、イマダ来ラザル以前ト孰ゾヤ。ナンゾソレ、佛法ニヨリテ、神道 漸ク廃ルト

⁵ The text has the character 向, but that must be a mistake for 尚. We have transcribed accordingly.

⁶ The *okurigana* 'fu' is strange. The classical spelling of the pronunciation of this charcter is *shi-u*, not *shi-fu*. Nevertheless, in view of the *okurigana se-ba*, 周 should be read $sh\bar{u}$; no other possibility suggests itself.

マタ曰ク、「ソノ異端、ワレヲ離テ、立チ難キヲモテ、ユヱニ、左道ノ説ヲ設ク。」

論ジテ白ク、「佛法、漢ニ来ルコトハ、孔子、没シテ、スデニ六百年ナリ。孔子、アニ佛法ヲ指シテ異端トナサンヤ。コレ、澆浮タル儒流ノ牽強ナリ。朱子ナド、排病ニョリテ、佗ノ善ヲ掩テ、後学ヲフセギュ住メ、ユニ帰ラシメント欲ス。後学、ツヒニ、辨セズ。延慶ノ白ク、後学、ミヅカラ(1:5オ)燭ストコロナキモノハ、イマダ、人ノ指呼ニジガフコトヲ免レズ。效テ、コレヲ言ヒ、鐘ヲ喚、甕ト作ルモノナリ、ト。列子、孔子ニ託シテ、聖人ヲ言フ。西方ノ聖者ハ五帝三皇ノ上ニ出ヅ、ト。希逸ガロク、佛ニアラズシテ、ナンゾ、ト。昔、薄伽梵ノ前ニ、十方ノ神天、ソノ嘱ヲ受ケ、佛教ヲ奉行シ、カクノゴトく尊高ノ佛教、ナンゾ、神ヲ假テ、立タンヤ。」

マタロク、「伊弉諾伊弉冉ハ梵語ナリ。」

論ジテ白ク、「コノ言ハ、コレ、ソノ名ニ惑テ、和梵ヲ弁ザル愚説ナリ。ナンゾ
(1:5ウ) 論スルニ足ンヤ。ソレ、山ハ蘭艾ヲ包ミ、人、真贋ヲ糅フ。艾ヲ見テ蘭ニ惑
ヒ、贋ヲ見テ真ニ擬ス。ソノ人、コレ、愚ヲ免レンヤ。儒者ノナカ、古ョリ曲学阿世ナドノ類、勝計スベカラズ。ナンゾ、儒ノ醜トナシ、孔子ノ咎トナサンヤ。ナホマタ、釈門ノヴウエンノルヤ、多々、役ヲ逃レ、活ニ寄スル、妖贋濫吹ノ流、異解異行ノ徒、ナンゾ、ソレ仏ノ醜トナサンヤ。浮誕ニ駕スルハ公ニアラズ。」

 $^{^{7}}$ The reading *fusegi* of the character \mathbb{H} is specified in the *furigana* that are added to this character. It does not usually have this reading.

マタ曰ク、「日神ハ大日ナリ。」

マタ曰ク、「大日ノ本国ナルユヱニ、大日本国ト名ク。」

論ジテ白ク、「大日ハ、法身ノ如来ナリ。修多羅に曰ク、『従来スルトコロナシ。 マタ、去るトコロナシ』、ト。大日、マタハ徧一切處ト号ス。法界ヲ都トシテ、常寂常照 ス。ナンゾ、ソレ日本ノー小區ヲモテ、ソノ本国トナサン。マタ、コレ浮説ニ駕スルモノナリ。」

(1:7才)

マタ曰ク、「本地ハ佛ニシテ、垂迹ハ神ナリ。」

論ジテ日ク、「本地」名言、華竺ニ出ヅ。本ハ本有ニテ、造成ニアラザルヲ云 つ。マタハ、初ナリ、祖ナリ。地ハ、万物能生ノ義ヲ借ル。一切ノ法、コレヨリ生セザ ナハチ、ソノ无始ノ无始ヲ謂フ。ユヱニ、コレヲ本不生際ト謂フ。一切本初本地ノ言、 コレナリ。本朝ノ神説、天先霧地先霧、言、異ニシテ、相似リトイヘドモ、天成リ、地定 メ、ソノナカニ化生ス。 天祖ノ神躬、モテ、(1:7ウ)コレヲ垂迹ト謂フ。 オヨソ、神ノ ソノ迹ニアラザレバ8、スナハチ、同セズ。佛、无量ノ福智ヲ積ミ、无量ノ誓願ヲ發シ、 トクホン シンコウ 徳本ノ深搆ニヨリテ、妙果ノ尊高ヲ致ス。ソノ高妙ノ境ノゴトキハ、スナハチ、凡流ノ キヘン ムライ シュジャウ フ カ イツシャウシュトク ミートド 奇變ニシテ、无頼ノ衆生ヲ負荷スルユヱナリ。一生修徳ノモノ、身ニ止マルガゴトキ コトハ、スナハチ、妙變ヲ世ニ垂ルコトアタワズ。舊事紀、古事紀(ママ)、日本紀ナド ニ所載ノ本朝ノ神風、(1:8才) 儒説ニ似ザルモノ、見ルベシ。ソレ、鱗介ノモノハ、 カウジャウ タッセ ケ バ ゾク イウリウ カタチ シラ キカー セウキ ダイエン 皐壤ノコトニ達ズ。毛羽ノ族ハ、アニ游流ノ形ヲ識ンヤ。佛法ノ中、小機、ナホ大衍 ヲ知ズ。イハンヤマタ、形身視聴ノ外ヲ談セザル守文ノ俗学、ナンゾ、大道ヲ知ラン や。本迹ノ冥寄ヲ怪ムモノ、宜カナ。

マタ曰ク、「時ノ王公大人、國ノ侯伯刺史、信伏シテ、悟ラズ。ツイ、神社佛寺ヲシテコンラン 混乱シテ、疑ワシメザルニ至ル。」

論ジテロク、「昔、梁ノ荀濟トイフモノ、武帝ノ時、ソノ 志 ヲ得ズ、上書シテ (1:8ウ)言ヲ鄙シ、僧ヲ詈リ、佛ヲ毀ル。実ハ佛僧ヲ排スル⁹アタハザルコトヲ知レドモ、

 $^{^8}$ Regarding the construction fei ... fei: the okurigana say -reba, but -raba would fit much better. The intended meaning is not "because they are not, ..." but "if they were not, ..."

⁹ We do not understand the *okurigana* 'to' after *hai-suru*. 不能 follows after a *rentaikei*, or after the substantified form with *koto*, so the phrase should be read *hai-suru* (*koto*) atawazu.

(1:9ウ)

マタ曰ク、「神、在シテ亡キガゴトシ。神、モシ神ナラバ、ソレイカンゾヤ。」

論ジテ日ク、「己ノ嫉妬ヲモテ、神ヲ責ム。神、スデニ佛ニ黨シ、僧ヲ容レテ、コレヲイカントモセズ。ユヱニ、神ヲ詈テ、神ヲ神ナラズトナス。愚俗ノ診ニ日ク、『僧ヲ悪ムモノアリテ、袈裟ヲ悪ム』、ト。袈裟、ナンノ咎カアランヤ。道春、佛ニ讎シ、

 $^{^{10}}$ Especially in view of the character \mathbb{X} , the reading *mata akuji wo nashite* would be better than the *tame ni* the *okurigana* suggest.

¹¹ The character 見 is used as an auxiliary of the passive.

¹² We see no reason to read the character 者 as *mono*, notwithstanding the *okurigana* 'no'.

¹³ In the top margin a note is added which gives the following readings of the character 徽: tawai タワイ, uruwashi ウルハシ, yoshi ヨシ. The first two readings are tentative.

マタ曰ク、「沙門、伊勢二入ルヲ得ズ。」

論ジテ日ク、「虎関師錬、『元亨釋書』ニ辨折シテ、巫祝ノ誣妄ヲ决ス。(1:10 オ)道春モ、マタ、ソノ言ヲ擧ゲ、カツマタ、コノ言ヲ發ス。モシ錬師(ママ)ノ説、牽彊アルニオケル14、スナハチ、ナンゾ、コレヲ論セザルヤ。シカルニ、タダ矯詐ニ駕ス。ドウシテ、ソレ公ナラズヤ。」

マタ曰、「敏達ノ佛ヲ信セズ、尾興鎌子、佛像ヲ拜セズ。コレナホ、上古ノ遺風餘烈ナリ。」

論ジテ白ク、「敏達、佛ヲ信セズ、マタ、儒ヲ信セズ。ソノ信セヌヲ褒メバ、スナハチ、儒モマタ、排スベシ。上古、マタ、仁義ナシ。モシ、人、仁義ヲ嫌フモノヲ上古ノ遺風餘烈ト謂フベキヤ。敏達、守屋ヲシテ(1:10ウ)、佛ヲ焼カシム、トモニ、率ニガサウル、ツヒニ、崩ル。尾興鎌子ガゴトキモノ、佛教ヲ知リテ、シカルニアララズ。 盗犬、堯ヲ吠ユル、アニニ、知ラザルガ愚カ。道春、己ニ黨スルヲモテ、賞シテ、治・カス・コレ、ソノ聲ニ吠ユルノ狗ニアララズヤ。」

マタ日ク、「大史公、『史記』百三十篇ヲ修ス。梵漢、大半ニ居ス。」

論ジテロク、「『史記』ノナカ、大宛ノ一篇、西域ノ蕃夷ヲ云フトイヘドモ、中天 ニ及バズ。ソノ佗、西使ノコト、數件アルトイヘドモ、ソノ大半ト云フベキニアラズ。」

_

¹⁴ It would seem the *okurigana* are wrong. *Kenkyō aru ni oite wa* would make better sense.

マタ日ク、「カツマタ、議スルニ、さりますモテス。」 (1:11才)

論ジテ日ク、「載籍ノコトタルヤ、古 ヲ酌ミ¹⁵、來ニ傳へ、天下ノ公鑑トナスユエンナリ。シカルニ、己 ガ私心ニ嫌 ルル¹6ヲモテ、専 ラコレヲ詆斥ス。タダ、コレ私家ノ弊帯ナリ。ナンゾ、ヨク天下ノ公トナサンヤ。」

マタ曰ク、「庶幾ハ、世人ノワガ神ヲ崇メテ、カノ佛ヲ排センコトヲ。」

論ジテ白ク、「儒ノ言フトコロノ神ハ、造化ノ迹、二氣ノ良能ナリ。本朝ノ神ニ 講好 ル。『左氏』ニ日ク、『音、道ヲ虞ニ僧リテ、虢17ヲ伐ツ。前、還テ、虞ニ館シ、ツヒニ、虞ヲ襲ヒテ、コレヲ滅ス。』今、我ガ神名を假テ佛ヲ排シ、シカウシテ、ワガ神ヲ だも引ラ、《儒ニ入レ、ツヒニ、ワガ神ヲ亡サン(1:11ウ)ノミ。オヨソ、本朝、神ヲ崇ムルモノハ、マタ、ヨク佛ヲ信ジ、佛ノ崇ムベキヲ18知ルトキハ、スナハチ、ヨク神ニ奉ズ。神佛異信ノ人、鮮シ。殊ニ本朝動スレバ、異荻、襲ント欲シ、通ズルニ邪法ヲモテス。ユヱニ、天下ノ嚴制アリ、コノ土ニ生ズルモノ、・ナンブ、ソノ致ストコロヤ。 では、シカルニ、マタ、佛ヲ排スルヲモテ、庶幾トナスハ、ナンブ、ソノ致ストコロヤ。 では、シカルニ、マタ、佛ヲ非スルヲモテ、庶幾トナスハ、ナンブ、ソノ致ストコロヤ。 がは、ガルガル・ガガが、・カルニ、マタ、佛ヲ非スルヲモテ、庶残トナスハ、ナンブ、ソノ致ストコロヤ。 がは、シカルニ、マタ、佛ヲ非スルヲモテ、庶残トナスハ、ナンブ、ソノ致ストコロヤ。 がは、シカルニ、マタ、佛ヲ非スルヲモテ、庶残トナスハ、ナンブ、ソノ致ストコロヤ。 がは、シカルニ、マタ、佛ヲ排スルヲモテ、庶残トナスハ、ナンブ、ソノ致ストコロヤ。 がは、シカルニ、マタ、佛ヲ非スルヲモテ、庶残トナスハ、ナンブ、ソノ致ストコロヤ。 がは、シカルニ、アト、帝威ヲモテ、佛ヲ滅セント欲ス。シカルニ、ツヒニ、佛、滅セズ。君臣、

¹⁵ The *okurigana* '*he*' is wrong; it should have been put after 傳 *tsutau*.

¹⁶ In view of the *okurigana ru*, this seems to be the only possible reading. In front of the particle a *rentaikei* is needed.

 $^{^{17}}$ A reader later added the reading ku-wa-ku (kaku) to the left of the character, which is the correct Japanese rendering of the Chinese pronunciation 'Guo.'

¹⁸ The *okurigana* \supset after $\overrightarrow{\Pi}$ evidently is a mistake for \supset . We have transcribed accordingly.

マタロク、「上古ノ淳直ニ復シ、民俗、内外ノ清浄ヲ致ン、ト。」

論ジテ白ク、「上古ノ淳直トハ、儒佛、イマダ来ザル以前ヲ指スヤ。ソレ、教トハ、聖人、トキニ適ヒ、宣ニ合ヒテ、コレヲ設ケ、モテ治躰ニ備フルモノナリ。昔、舜、五帝ノ末ニ當リテ、出ヅ。時、漸ク薄ク、人、漸ク偽レリ。(1:12ウ)コレニヨリテ、五教ヲ布テ、モテ、コレヲ調ヘテ、天下ノ教、コレヨリ始ル20ナリ。周公ノ世ニオヨビテ、時、益々薄ク、人、益々偽ル。コレニオケルヤ、廣ク法ヲ張リ、モテ化ス。儒、コレヨリ起ル。ソノ後、孔子述ベテ、愈振ウ。イハユル大道、廢シテ、仁義、出ルモノナリ。ソレ、世、淳ニ、人、善ナル時ハ、スナハチ教、施ストコロナシ。疾前、薬、ナキユエンナリ。世季、人、悪キノトキニ當タリテヤ、教、ナクンバアルベカラズ。アニ、上古ヲ公ンヤ。揚子ガロク、『冬ノ"裘、スルモノヲ責ムルニ、葛ノ易キヲモテン、飢テ、食スルモノヲ責ムルニ、散ノ易キヲモテス』、ト。コレ、ソノトキノ宣キヲ知ラザル譬ナリ。

 $^{^{19}}$ If it were not for the *okurigana wo*, we would read *hai-seraru*, as \mathbb{R} can also be used as an auxiliary of the passive.

 $^{^{20}}$ The text has the *okurigana mu*, but that cannot be correct. In view of the context, the intransitive verb *hajimaru* is needed. *Hajimu* would be the *shūshikei* of the transitive verb *hajimu* (-/2), which, however, cannot be used in front of *nari*. *Nari* requires a *rentaikei*.

論ジテ白ク、「菩薩号、尤モ釋典二出ヅ。タダシ、神史二載ルトコロノ神託、コレヲ証ズンバ、スナハチ、八幡太神、スデニ光量劫来、芝有二化生スルノ託アリ。ナンゾ、ソレ、佛法ノ草昧ニ拘ランヤ。道春ノ邪思ノゴトキコトハ、スナハチ、タダ、八幡 ヲモテ、一凡人ノー生修徳ノ類トナシテ、ソノ霊奇妙變ヲ怪ムモノナリ。シカウシテ、マタ、八幡广呂ノ託ヲ信取ス。ソノ己レカ嫌フトコロヲモテ、コレヲ22径ミ、ソノ己ニ容ルヲモテ、コレヲ取ル。(1:14オ)アニ、首鼠ノ両端ナランヤ。大倭姫ノ命、雄署ノトキニ在テ西天に真人ヲ云ノハ、大倭姫、神人トナサズンバ、スナハチ、ルピッシュカシス。『易』ニ曰ク、『神、モテ来ルヲ知ル』、ト。大倭姫、神人ニシテ、西天ノ真人ヲ云ノハ、「怪ムベカラズ。モシ、マタ、本朝、韓ニッジ、漢字ヲ用ヰルコト久シ。数百年ノ間、佛法モ、マタ、聞コルモノ、知ルベカラズ。「ガジアルニ似タリ。載籍ノナカ、漢明

²¹ Both 排闢 and 排闥 (Mor. V: 12256-92) mean "to push open a door," but whereas 闥 only means "a small gate inside the palace," 闢 also means "to split open, to push aside." As we need a figurative meaning when translating this compound, the second character should be preferred. Hence, we have inserted it into the text.

²² The *okurigana* in the text looks very much like \mathcal{I} , but there can be no doubt that it should be \mathcal{I} .

スポン シ ナ 以前、支那、佛教アルコトヲ 明トス』、ト。本朝ノ佛、ナンゾ、マタ、 イツペングセ アヤシマ 一偏癖ヲモテコレヲ 怪 ンヤ」。

$(1:14\dot{7})$

『神社考』ニ白ク、「ソレ、伊勢八幡ハ、本朝二所ノ宗庿ニシテ、君臣上下、各、
**ンケイ 飲敬シ、奉仕セザルナシ。浮屠氏、ソノカクノゴトキヲ見テロク、『本地ハ佛ナリ、垂迹ハ神ナリ』。ツヒニ、神明ヲ引き、佛氏に入ル。時君、惑テ、悟ラズ。ソレヲシテ、
※推横行シ、アルヒハ、神戸ヲ奪ヒ、有封を掠テ、コレヲ寺院ニ納レセシムルニ至ル。アア、神、ナンゾ、コレヲ罰セザルヤ。」

論ジテロク、「君子ハ、人ヲ護ラズ、言ヲ善クシ、迷ヲ去リテ、天下、仁ニ帰ス。
がないナシツ²³ベキコトハ、由来人シ。ソレ、私ヲ挿ミ、デルコトヲ 韓 ニス。君(1:15
オ)子ノ ルルトコロナリ。道春ガ瞋嫉ノ 甚 シキ、孰カ聞クニ忍ビンヤ。本述ノコト及ビ 時君惑フノ侮言ハ、前ニスデニコレヲ論ズ。タダシ、天下ノ神社ノナカ、僧者ノ与カル モノ、鮮ラズ。古 ヨリ□□□御當家ニ迄り、時君、皆、惑ヒテ悟ラズ、時臣モ、マタ、 无識トナサンヤ。ナンゾソレ、ソノ言ノ不遜ナルヤ。

カツ、神戸、寺院ニ納レ、神ノ罰セザルヲ責ム。ソレ、神ノ罰セザルヲモテ、神ノ容ルコトヲ知ルベシ。昔、勝海、守屋ノ徒、己ガ嫉ヲモテ、神慮ニ課リ²⁴、佛ヲ焼キ、寺ヲ燃ス。即時、大殿、天火ス。コレ、人ハ、愚ニシテ、神ハ、モテ清クシテ、(1:15ウ)嫉妬ナキコトヲ知ラズ。神ハ、明ニシテ、佛ニ同ジコトヲ悟ラズ。」

²³ This seems to be the only way to read the *okurigana tsu* in the text.

²⁴ Although the text here has the *okurigana* セ, we read 課 as the verb *hakaru*, because Jakuhon here quotes from the preface of *Taisei-kyō*, which has 「而以己嫉量神慮」. 量 is here read *hakaru*.

『神社考』ニ曰ク、「余、案ズルニ、宋ノ六乙居士、放生ノコトヲ論ジテ謂ク、『佛氏、ミヅカラ慈悲ヲナスト称シテ、放生ヲ貴ビ、殺生ヲ禁ズ。昔、庖犠氏、始メテ、畋獵シ、モテ庖厨ニ充ツ。万世、称シテ、聖人トナス。モシ、佛説ノゴトク25ハ、スナハチ、庖犠ハ、地下ノ罪人ナリ。』公論ト謂フベシ。」

論ジテ白ク、「ソレ、『祗荘雍穆ノ徒ハ、君臣ノ節ヲ立テ、賢聖ノ業ヲ崇ム。イマダ、苑面ノ麗、遊猟ノ靡ニ遑アラザルナリ。』 危犠氏、聖徳アリ。始テ、八卦ヲ畫シ、モテ神明ノ徳ニ通ズ。書契(1:16オ)ヲ造リ、モテ結縄ノ政ニ代フ。』 万世、聖人トナスユヱンナリ。アニ、田猟ノ一事ヲモテ、万世、聖人トナサンヤ。『務メ、獨楽ニ在テ、衆庶ヲ顧ズ、国家ノ政ヲ忘レテ、雉鬼ノ獲ルノヲ貪ルコト、スナハチ、仁者ハ、ヨラザルナリ』。

モシ、ソノ田猟ヲモテ、業トナスモノハ、地下ノ罪人ニアラズトナサズ。オヨソ、 カンイツ ボトケ ツシ ハ、韓 意 ヲ 節トス。張天覚ガ謂く、『脩ノ書尺ヲ観ルニ、謀々トシテ を 水ルルトコロナシ』。意ノ潮ニ貶セル27ヲ視 ルニ、天命ニ 達セズ。仙ニ求メ、神ニ禱ル、同一ノ見趣同一見趣ナリ。脩スルトコロノ『唐書』、瑜、瑕ヲ掩ズ。臆度(1:16ウ)褒貶シテ、呉縝ガタメニ、ソノ謬ヲ糾サルルモノ、ニ百餘條ナリ。愈ガ筆ヲ 肆ニシ、頗ル、繆論多キトハ、同一28ノ意識ナリ。脩、後ニ、祖印ニ見へ、排佛ノ心、スデニ消ユ。ソノ旨ヲ會ハスコト、愈ガ大顛ニ交

²⁵ The *okurigana* behind \wedge and $\not\square$ would normally be read *koto*, but in neither case would such a reading be appropriate. We have therefore, in view of the context, chosen for *to* and *ku* respectively.

²⁶ The *okurigana* is *no*, but in this case this is probably is a mistake for *shite*. The supposition is borne out by the parallel sentence that follows: the *okurigana* after *sekiseki to* evidently is an, again deficient, *shite*.

²⁷ The *okurigana* are clear, so *otoseru* is a past tense, composed of a contraction of *otoshi* + *ari*.

²⁸ We have inserted the character — on account of the *Sanjiao pingxin lun* Jakuhon is quoting, and in order to bring out the parallel with the preceding 同一見趣也.

リ、高閑ヲ送ルト同一ノ趨向ナリ。道春、カレガ言ヲモテ、公論トナス。ソレ、さニ²⁹合フヲモテ美トナス。脩ハ愈ヲ師トシ、道春ハ脩ヲ師トス。践履モ、マタ同ジ。道春、親
ノギウキ アダリ ソウ クラハ シ ツク ノギ ルアリ。ソノ守ルトコロ、正カラザルユヱンナリ。

(1:16ウ)

『神社考』ニ日ク、「『礼記』ニ天物ヲ暴フヲ戒ム。聖人、『釣シテ綱セズ、弋シテ宿ヲ 射ズ』。コレ、(1:17オ)義アリテ、存ズ。カノ浮屠氏、アニ、義ヲ知ルヲ得ンヤ。牛ヲ 『ライヤダ 羊ヲ見ズ。君子、身践マザルハ、コレ、義ノ存ズルトコロナリ。」

論ジテ白ク、「『天道、至仁ナリ。アニ、人ヲシテ生ヲ殺シ、モテ、生ヲ養ワシメンヤ。「書經」ニ日ク、「コレ天地ハ万物ノ父母ナリ」、ト。父母ノ子ニオケルヤ、愛シテ

之ヲ愍ム。ナンゾ、ソレ、書ヲ加ヘンヤ。』 殺害ノコト、ナンゾ、天地ノ意ナランヤ。
『礼記』ニ天物ヲ暴フヲ戒ムルユエンナリ。洪氏ガ白ク、『孔子、少シテ、資賤ニシテ
養ト祭トノタメニ、アルヒハ、亡ムコトヲ得ズシテ、釣弋ス。シカレドモ、物ヲ盡シテコレヲ取リ、ソノ不意ニ出ルコトモ、マタナサズ』、トナリ。『ギョモテ牛ニ易フルハ、君(1:17ウ)子ノ心、ソノイマダ見ザルヲ忍テ、ソノ見ルニ忍ブコトアタハザルナリ。孟子ノ治論、古ケラ30イマダ 霊ザルトナセリ。モシ見ザルヲモテ、殺ヲ 恣 ニセバ、スナハチ、漁ニレナソ、宿ヲセザルヲ憐マザルヤ。コレヲモテ曾スルニ、義アリテ、存ズルヲモテス。
義アリテ存ズルヲ知ラバ、スナハチ、ソノ不可ヲ知ル。『易經』ニ日ク、『古ノ物明睿智、神武ニシテ殺サヌ』、ト。ソレ、コレヲ殺スハ不可ニシテ、コト亡ムコトヲ得

²⁹ The *okurigana* read *n ni*, and the character looks more like \square than like \square , but *yaman ni au* does not make sense in the context

 $^{^{30}}$ The two strokes to the right side of the character \pm do *not* seem to be *furigana*.

ザルニ出ヅルナリ。佛、大戒ヲ立テ、不殺ヲモテ、先ニ居ス。ケダシ、ソノ源ヲ制スルモノナリ。貪ヲ絶シ、慈ヲ全ス。俗ノ難トスルトコロナリ。」

(1:18才)

『神社考』ニ曰ク、「世ニ称スラク、應神帝ノ化スルトコロ、金色ノ鷹トナスハ、モシ果シテシカラバ、スナハチ、放生セズシテ、ナンゾ、搏撃ノ物ヲナサンヤ。」

論ジテ日ク、「ソレ、神ハ不測ナリ。ソノ化類、多カラザルトナサズ。櫛八玉神、 韓ニ化ス。天ノ人熊ノ命、金色ノ鳶ニ化ス。坂ノ神、白鹿ニ化ス。日本武命、白鳥ニ 化ス。皆、イハユルワガ神ノ奇怪妙變ナリ。凡情ヲモテ議スベカラズ。搏撃ニ至ラバ、 ナンゾ、ソレ、実類ノ食業ヲナサンヤ。」

『神社考』ニロク、「母后ノ三韓ヲ征スルニ及ビテ、ソレ、必ズ戦死スルモノモ、マタスクナッカラズ。(1:18ウ)ナンゾ、カノトキニ放生セズシテ、コノトキニ放生センヤ。神、アニンベアランヤ。余思フニ、夷ヲ退ケテ、賊ヲ平ゲタルハ、神助ニシテ、放生ヲ請フハ、妖巫贋僧ノ託ナリ。」

ダ僧巫ノ假託トナスハ、神ヲ誣ルコト、ナンゾ、ソレ、ココニ至ルヤ。カツ、放生ノコト、 僧巫ニオケルヤ、絲毫ノ分アラズ。ナンゾ、ソレ、邪僻ノ言ヲ労スルヤ。」

『神社考』ニロク、「ワガ邦、神代(じんだい)、事代主神、釣魚遊鳥ヲモテ、楽トナス。マタ、天孫ノ子、兄弟ニ山ノ幸、海ノ幸アリ。コレニヨリテ、コレヲ見レバ、神モマタ、ナンゾ、必ズ専ラ放生ヲ好ンヤ。」

『神社考』ニロク、「『続日本紀』天平十勝寶元年十一月、(1:20才)八幡太神、託シテ、京師ニ向フ。スナハチ、僧四十口ヲ請ヒテ、悔過七日ニシテ、宮南、梨原宮ニオキテ新殿ヲ造リテ神居トナス。○余、謂ク、聖武孝謙、共ニ佛氏ニ淫ス。ユヱニ、コレラノコトアリ。史筆、ナンゾ、 穢 ラズヤ。」

コン イハ リウキャウ 『センゴクサク』 ジョ ニ序シテロク、『史氏ノ法、具 ニー時ノ事辞ヲ 論ジテロク、「劉向、『戦國策』ニ序シテロク、『史氏ノ法、具 ニー時ノ事辞ヲ シュンジウ ロシュンジウ 記シ、善悪、必 ズ書シテ、初メヨリ、決擇スルトコロナシ」、ト。 古 ニ、モテ『春秋』ノ

_

³¹ The most common *kun-yomi* of this character is *kurau*. The reading *shiku* (4), which is indicated by the *furigana*_L is not a standard *Kanbun* reading, but *Daijigen* gives as possible readings in a Japanese context *shikii ni suru* and *shiku*, though specific for the Heian Period. Morohashi (s.v. 14) gives *tsuranaru* and *hiku* as acknowledged readings, which come close.

『神社考』ニロク、「頼朝、鶴岡ノ供僧軄³²ヲ置キテ法華、大般若ナドヲ讀ミテ、祈禱 ヲセシム。コレ、マタ、國俗沿襲ノ餘習ニ随ヘルノミ。論ニ足ズ。」

『神社考』ニ日ク、「兼倶、ナンスレノモノゾヤ。モシ、神事ノ宗源ヲ主レバ、宜ク イタン ハイ ブッソウ イム 異端ヲ排シ、佛僧ヲ忌ベシ。シカラズンバ、天ノ児屋根ノ罪人ナリ。」

論ジテ日ク、「オヨソ、神ノ佛ヲ忌ムモノ、妄祝ノ矯言、古人ノ決ムルトコロナリ。 モシ、神、佛ニ戻ルアラバ、邪神ナリ。兼倶、神事ノ宗源ヲ 主 テ、(1:21ウ)誣妄ノ 類ニアラズ。深ク鈎リ、遠ク索メ、神佛ノ理ヲ知テ、誣イザルモノナリ。道春、ソノ、己

³² 軄 is a zokuji for 職, which in a Buddhist context translates as "responsibility."

³³ The reading *agu* of this character is added in *furigana* in the text.

ニ黨セザルヲ以テ、コレヲ議ス。天ノ児屋根、佛ヲ忌ムコトナシ。兼倶、佛僧ヲ忌ザルヲモテ、ナンゾ、ソレ、ソノ罪人トナサンヤ。傳ニ曰ク、『女ハ美悪トナク、室ニ入テ、ゲール。』34 美女ハ悪女ノ仇ナリ。アニ、シカラザランヤ。」

(1:22才)

(1:22ウ)

『神社考』ニロク、「ソレ、佛ハ一黠胡ニシテ、夷荻ノ法ナリ。神国ヲ變ジテ黠胡ノ國トナス。譬へバ喬木ヲ下テ幽谷ニ入ルガゴトシ。君子ノ取ラザルトコロナリ。」

ニュンテロク、「昔、傅奕、佛ヲ指シテ胡神ト云ヒ、韓・歐ノ徒、皆、效ヒテ、モテ、

³⁴ The character 見 here functions as an auxiliary of the passive.

³⁵ This reading seems superior to the *kare no shochi ni arazu* that is suggested by the *okurigana*.

³⁶ Interpreting 謾 (azamuku: to deceive) as 漫 (midari ni: just lilke that, for no reason).

ゲン ブッコク チュウテンデク コ アキラカ ホクテン イテキ カン ズイ コノ言アリ。佛國ハ中天竺ナリ。胡ハ 諒 ニ北天ノ夷荻ナリ。漢・隋、イマダ中天ヲ知 ズシテ、佛國ヲ指シテ胡トナス。儒者、殊ニ世界ノ宏曠无際ヲ知ラズ。タダ、 ッカイキウシウ チュウゴク シャウシ リクガフ ソト セイジンソン 四海九州ヲモテ、中国トナス。荘子ガ曰ク、『六合ノ外ハ聖人存ジテ(1:23オ)論ゼ ズ、六合之内ハ聖人論ジテ議ゼズ、』ト。タダ、四海六合ニ止マリテ³⁷、サラニ、去ル トコロナシ。コレヲ井ニ居ル蛙ノ見ルニ譬フ。昔、何承天、僧惠観ト、支那天竺邊正 ヲ論ジ、日影ヲ圖テ、ツヒニ、印土ヲモテ、世界のナカトナス。支那ハ、コレー東夷ナ リ。イハンヤマタ、コノ日域ハ夷ノ夷ナルモノナリ。シカルニ、漫リニ³⁸、佛ヲ黠胡夷荻 トナス。古へニロク、『道ヲ聞キテ行ハザルト、道ヲ聞ズシテ行ハザルト、二ツハ、イ ップン キャー・オコナ キャー・オコナ キャー・オコナ ジレカ悪キ。ケダシ、聞カズシテ行ハザルハ、愚ノミ。聞キテ行ハザルハ、姦ナリ。 カヘツ 却テ、コレヲ毀ルヲヤ。コレ、悪ムベキノ大ナルモノナリ』、ト。道春、知ザルトナセバ、 スナハチ、愚ナリ。知テ、コレヲ言ハバ、スナハチ、姦ナリ。ナホマタ、コレヲ毀ルハ、 コロ、賢懿ノ挺生スルトコロナラン』、ト。実ニ佛、中天ニ出デ、中道ヲ弘ム。ソノ中天 ダイホフ ヘンイ セウコク ウツ ノ大法ヲ、コノ偏夷ノ小國ニ移スモ、マタ、幸ニアラズヤ。ユヱニ、神々、法水ニ沿、 #プク マ 威福ヲ増シ、モテ、幸トナセリ。シカルニ、神国ヲ変ジテ胡トナスノ言、君子コレヲ取ン ヤ。道春ガ儒、神国ヲ変ジテ、魯邦トナシテ、神ヲ亡サント欲ス。マタ似ザリ。 1⁴⁰

³⁷ We see not other way to make sense of the *okurigana ma-te* but to assume that *ri* dropped out.

 $^{^{38}}$ As above, note 36, it seems better to interpret in a a mistake for in a mistake f

 $^{^{39}}$ The use of the particle Ξ is strange, but in view of the *okurigana* given in the present text, and of the fact that in the text Jakuhon is quoting here Ξ is at the second occassion replaced by 也, there is no reason to doubt the translation.

 $^{^{40}}$ It looks as if the sentence has been foreshortened here. At the very least, a question particle seems to have been left out. 不亦似乎? "Doesn't it look like this?"

(1:24才)

プンジャカウ イハ リタウシンチ シンタウ アクウ クワウダウシンダウ 『神社考』二日ク、「理當心地ノ神道、神モテ神ニ傳へ、皇モテ皇ニ傳フ。皇道神道、 ニニアラズ。」

論ジテ白ク、「オヨソ、心地ヲ言フハ、佛經ヲ剽竊ス。神モテ神ニ傳フルノ道ハ、アメノコヤネノミコトアマノフトダマノミコト アマノフトダマノミコト アマノフトダマノミコト アマノフトダマノミコト アメノコヤネノミコト アマノフトダマノミコト アメノコヤネノミコト アマノフトダマノミコト アメノコヤネノミコト アマノフトダマノミコト アトノ児屋根命・天ノ太玉ノ命、ソノ宗源齊源ナリ。コレ、儒説ノニ氣ノ良能・造化ノ迹ト 大二異ルナリ。カレ、モシコアモテ、本朝ノ神道トナセバ、スナハチ、己ヲ失フ。カレノソレ神道ト云フモノ、ヒシコレヲモテ、己ニ合ハセバ、スナハチ、コレヲ失フ。カレノソレ神道ト云フモノ、怪マザルベカラズ。」

(1:24ウ)

『神社考』ニ白ク、「余、案ズルニ、『山家要略』ハ、傳教帰朝ノ秘文ナリ。傳教、サングダイシ ショウ 山家大師ト称ス。大師、真ニ金毘羅ヲモて、三輪ノ明神トナスヤ。タダシ、知ラズ、ソノ徒、師ニ託シテ、モテ言ヲナスヤ。ソレ、傳教ハ、ワガ方ノ智顗・湛然ナリ。シカルニナホ、カクノゴトキノ妖妄アリ。アア、浮屠ノ弊、ココニ至レルヤ。傅奕・韓愈トイヘドモ、ソレ、イカガニセム。

論ジテ白ク、「傳教大師、俶儻41非常ノ姿ヲモテ、神域ニ通ジ、ソノ感ズルトコロアリテ、金毘羅ヲモテ、三輪ノ明神トナス。シカラズンバ、スナハチ、ナンゾ、ソノ神明ヲ誣ヒ、末徒ヲ賺サンヤ。ソノ人ニアラザレバ、スナハチ、(1:25オ)ソノ境ヲ知ラズ。道春、タダ金毘羅ノ天竺ノ神ナルヲ聞キ、マタ、三輪ノ明神ハ大己貴ノ命ナルヲポモ、異域隔別ノ凡局ヲモテ、山家大師ヲ議ス。『スデニ高皇産霊ノ尊、大西國ニ降

-

⁴¹ For this compound see Mor. I: 732-11.

-

⁴² The reading *yukimasu* is specified in the text with *furigana*.

 $^{^{43}}$ The use of the character 韋 (wei / nameshikawa: tanned leather) does not make sense. Besides, the source text which this phrase comes from uses 聿 (yu) which does make sense. We have emended the text accordingly. See Translation footnote 227??.

⁴⁴ The character is Mor. V: 12359.

 $^{^{45}}$ The use of the character 排 seems strange here. We have emended it to ${\mathfrak T}$.

Ik zou deel 2 maar op een nieuwe pagina beginnen.

(2:1才)神社考辨疑巻下」

『神社考』ニロク、「道智ガ神剱ヲ竊ムヲ見ルニ逮ブヤ、慨然トシテ試ミニ筆削シテロク、「道智ガ神剱ヲ竊ムヲ見ルニ逮ブヤ、慨然トシテ試ミニ筆削シテロク、『盗、草薙剱ヲ竊ミ、得ルコト克ハズ。』昔、聖人、『春秋』ヲ作リ、齊豹、陽虎ヲ盗ト書ス46。イハンヤ、ソノ餘ルヲヤ。マタ、イハンヤ、妖僧ノ道智ヲヤ。書シテモテ戒トナス。コレニオイテヤ、神剱ノ弥霊ニシテ47、浮屠ノ益妖ナルヲ見ル。」

 46 In view of the *okurigana* given to this character at the next occurrence (following line), it must be read *sho-su*, not *kak.u*.

⁴⁷ The text specifies the *okurigana ni*, which necessitaties the reading *ni shite*. Otherwise, one could have settled for *nari* at the end of the first of the two parallel phrases, both ending in 也: "... rei nari (ren'yōkei), ... yō naru (rentaikei) wo miru."

 $^{^{48}}$ The compound $hons\bar{o}$ 本僧 is not attested, but if the intended reading were $moto\ yori\ s\bar{o}$ $nite\ wa\ nashi$, the order of the characters should have been 本不僧. The character 不 with the $okurigana\ shi$ also poses a problem, but in view of the succeeding Ξ , nashi seems the best reading: "There is no real monk in him." 49 The character Ξ has both the $okurigana\ nara$ (right side) and the $okurigana\ se$ (left side). As it is impossible to read nara first and se the second time round, it looks like the reader is given the choice to read either $t\bar{o}$ narazu or $t\bar{o}$ sezu. The implication would be that the character Ξ that follows, and that has the $okurigana\ ha$ can be read either $t\bar{o}$ wa or $t\bar{o}$ seba. In view of the parallellism between the two phrases, however, it seems better to accept Ξ and Ξ as nouns, and Ξ and Ξ both as negative copula.

泰順ト云フモノ、盗ノ黨ニシテ、刑戮セラル。コレヲ見テ、儒者、皆、盗ト云ハンヤ。ナ がアック ンゾソレ、ソノ言ノ盡サズ、公ナラザルヤ。」

(2:2才)『神社考』ニロク、「真濟ハ洛陽ノ人、世に言フ、『真濟、染殿皇后ヲ見、迷ヒテスペインリ。ツヒニ、死ニ、魅トナル。マタ称ス、真濟ノ霊、大天狗トナル。コレ、スナハチ、愛宕山ノ太郎坊ナリ、ト。」

論ジテ白ク、「真濟ノ履歴、載セテ傳紀ニ在リ。魅トナルノコト、株ナシ。コレ、タダ、无動寺ノ相應和尚ノ徒、相應ヲ揚ゲント欲シテ、コノ妄ヲ作スヤ。ツイニ『元亨釋書』ニ載ス。真濟師ハ、貞観ニ年ニ滅ス。藤太后、妖病ニ罹ルノハ、寛平五年ナリ。相去ルコト、三十四年ナリ。ソノ浮誕、檢スベシ。道春、幸ニシテ、コレニ親シ、大天狗トナス。(2:2ウ)聞ク人、ダレカ邪心ヲ知ラザランヤ。」

コン イハ サイセイ セッ 論ジテ日ク、「再生ノ説、カレ言ハザラント欲スレバ、スナハチ、史傳ニスデニ

『神社考』ニ白ク、「聚散遅速、火ノ初メテ滅シテ、烟氣ナホ鬱スルガゴトキヤ。(2:4 オ)ユヱニ、鬼神ノ感格アリ、厲・霊ノ来出アリ、精爽ノ依託アリ、魂魄ノ流行アリテ、ソレ、ツヒニ、太虚ニョリ、之カザルトコロナシ。ナンゾ蹤跡の遺ルカアランヤ。イハンヤ、ソノ人、死シテ、マタ託胎センヤ。

論ジテ行く、「人、死シテ、マタ、来出ナドノモノアリ。並フルコトアタハズ。シカレドモ、神ノ滅セザルコトヲ知ズシテ、説クコト、多途ヲモテス。今ノ言、宋儒ノ海アナリ。子貢、孔子ニ問ヒテ曰ク、『人、死シテ、知アルヤ、知ナキヤ』、ト。孔子、白ハク、

⁵⁰ The text specifies the *okurigana re*, but that is grammatically incorrect, and does not make sense.

⁵¹ In line 3 on this page, the character 復 occurs again, this time with the *okurigana suru ni*. This indicates that the preferred reading should be *fuku-suru*, rather than *kaeru*.

『ワレ、死ノ知アリト言ハント欲スレバ、ハタ、孝子順孫ノ生ヲ妨ゲ、モテ、死ニ事ヘンコトヲ恐ル。ワレ、死ノ知ナシト言ハント欲スレバ、ハタ、不孝ノ子ノソノ父子ヲ棄テテ(2:4ウ)、葬ラザランコトヲ恐ル。賜、死者ノ知ト元知トヲ知ラント欲スルコト、今ノ急ニアラズ。後ニオノヅカラコレヲ知ラン。イマダ、暁ラザルナリ』、ト。コレソレ孔子、ナシトナサザルノ證ナリ。ナンゾソレ孔子ヲ誣ヒテ、宋儒ヲ信ジ、ミヅカラ惑ヒ、人ヲ惑ハスヤ。道安法師ノ『二教論』ニ曰く、『タダ業報、理、微ニシテ、通人ナホ味ク、恵ヒテ及ブコトアタハズ。邪見、コレニ興ル。アルイハ、人死シテ、神滅シ、サラニ來生ナシト説ク。<コレ断見外道ト云フ>。アルイハ、素散第ムルコトナク、心神、間ナシ。<コレ常見外道ト云フ>。アルイハ、諸法首然ニシテ、因に由ラズト許ル。<コレ无因外道ト云フ>。』コレ天竺外道ノナカノ(2:5オ)如異執ナリ。道春ノ類、皆、コレヲ出ズ。カレノ言、懼恵セザルベカラズ。

『神社考』ニロク、「佛氏三世ノ説、今ノ果ハ夙ノ因ナリ。今ノ因ハ後ノ果ナリ。ソノ要 によど アンテ善ヲ修シ悪ヲ止メシムルニ至ル。シカルニ、下愚庸昧、コノ意ヲ悟ラズ、 やまウクギワク 恐懼疑惑シテ、ツヒニモテ実ニ三世アリトナス。コレ必ラズ野狐ノミ。」

論ジテ白ク、「佛教三世ノ説、釋然トシテ疑ヒナシ。『信ジテ微アリ』。編ノゴトキ52モノ、善ヲ積ミテ餘慶アリ、悪ヲ積ミテ餘殃アリトズフトイヘドモ、顔冉(2:5ウ) 大疾シ、盗跖強壽ナリ。幽厲ハ天子トナリ、孔子ハタダ陪臣ナリ。齊景ハ千駟アリ、東齊ハ餓死ス。『コレ、皆、善悪、徴ナシ。網惑、茲ニ生ズ。』『蕭遠モ、ソノ流ヲ

⁵² The *okurigana* after ⋬☐ is incomprehensible.

暢スコトアタハズ。子玄モ、イマダソノ源ヲ詳ニスルコトヲ得ズ。』智モ明ニセザルトコロニテ、力モ抗ゲザル53トコロナリ。佛教ノ三報、永クモテコノ躓キヲ解クモ、マタ深シ。コレヲモテ、カノ漢明ヨリワガ欽明ノ後、世と居多ノ聖賢王公大人ヲ歴、皆、心ヲ厝キテ54崇信シ、教ヲ稟リテ、モテ、帰敬ス。今、道春、狂悖シテ、謾ニ罵ルニ野孤ヲモテシ、世とノ聖賢、皆、下愚庸昧トナス。果シテ然ランヤ。天下ノ人、皆、(2:6オ)心アリ、コレヲ簡55バザランヤ。

論ジテ白ク、「前説ノゴトク、『人、死シテ太虚二散ズ。去リテ蹤迹ナシ』、ト。然ルニ、マタ、『至誠ヲ存ズルトキハ、スナハチ、見ルガゴトク在ルガゴトシ』、ト57。ソノ在ラヌモノヲモテ、見ルガゴトク在ルガゴトシトスルヤ、コレ誠ニハアラズ、シアルモノナリ。カツ、祖孫、一氣脉絡(2:6ウ)ノ説ノゴトキコトハ、殊ニ知らズ。形、一生ニ盡キテ

⁵³ The *okurigana*, which might be *he*, does not fit the character, so we have decided to ignore it.

⁵⁴ The character 厝 has the meaning of "whetting stone," but here will be used as an *itaiji* of 措; see Mor. II: 2961.

 $^{^{55}}$ The character in the text clearly is $\dot{\rm m}$ (Mor. IX: 31954), but it makes no sense; under this lemma, only the names of plants are listed. We therefore take the character to be a mistake for $\dot{\rm m}$ (Mor. VIII: 26520) and emend the text accordingly. The reading erabu is one of the many readings listed s.v. (16). It is also strongly suggested by Jakuhon's own lji-hen 異字篇 (1:20b), where the character is paired off with $\dot{\rm m}$ (Mor. V: 12315) and $\dot{\rm m}$ (Mor. VI: 14655). Jakuhon t.p. glosses all three as fuda, but the two latter characters can also be read erabu.

 $^{^{56}}$ Jakuhon followed Razan in using the character 謟 (Mor. X: 35831; utagau), whereas the original text (Lunyu 2.24, which Razan is quoting here), has 諂 (Mor. X: 35616; hetsurau). This is therefore the correct character, which is why we have substituted it here in the kakikudashi.

⁵⁷ The two particles *to* mark these words as a quotation, though, obviously, Jakuhon is merely restating the quotation from $Jinja-k\bar{o}$ on p. 2:4a, and the quotation at the beginning of the present section.

常ノ主ナク、神、六道ニ馳セテ常ノ家ナシ。ナンゾソレ氣脈ノ孫ノ祭ルヲ待チテ出デンヤ。ソレ、『藜ヲ羹ニスルモノニハ与ニ大牢ヲ談ジ難ク』、偏ヲ執ルモノニハシングウロン真道ヲ論ズベカラズ。」

『神社考』ニ白ク、「平氏撰スルトコロノ『太子傳暦』ニ載ス、太子カツテ人ヲシテ陵墓ヲ治ラシメテ、告ゲテロク、『コノ處ヲ断チ、カノ處ヲ截レ。継嗣アルヲ欲セザルナリ。ソレ、子孫續ヌハ、アニ大答ト云ハム。孔子ノ遺教、後嗣ナキモノヲ不孝トナス。ワレ、澤迦ノ弟子トナシ、孔子ノ弟子トナサズ』、ト。耶穌ト云フモノ(2:7オ)ノ書ヲ見ル。論ジテココニ及ブ。後无キヲ不孝トナスハ、スナハチ、伯夷叔齊、子アルヲ聞カズ、夷齊、ソレ不孝トナサンヤ。後アルヲ孝トナスハ、スナハチ、多ク妄婦ヲ買ヒテ色欲ヲ**悉*ニセバ、ソレ孝トナサンヤ。余、惟フニ、ソレ、太子ノ言ト耶穌ノ論ト、共ニ一偏ニながリテ、ソノ中正ヲ失フモノナリ。ワガ身体、髪膚ハ、父母ノ遺体ナリ。ワレナケレバ、スナハチ、父母ナシ。マタ、祖先ナシ。ワレアレバ、スナハチ、モテ遠キヲ追フベク、モテ父母ノ養ヲ揚グベシ。アニ、草木ト間ク朽チ、禽獣ト共ニ齊ク斃レンヤ。宜ナルカナ、後ナキヲ不孝トナスコト。」

(2:7ウ)

論ジテ白ク、「人ヲモテトプリトスレバ58、スナハチ、人ハワレヲモテモマタ隣トナス。 ダイシャップ、イツペン カカハリテキュウセイ シップ ツリ 太子耶穌、一偏ニ 拘リテ中正ヲ失シ、募ルニ後ナキヲ不孝トスルヲモテス。道春モ マタ、アニ、一偏ナルモノヤ。ソレ、堯舜ノ聖モ、錐ヲ立ツルニ地ナク、湯武ノ徳モ、 『ベウップ 飲苗紹ガズ。コレヲモテ罪トナシ、コレヲ不孝トナシ、草木ト同ク朽チ、禽獣ト共ニ齊 ク斃ルトナサンヤ。尊キハ道ヨリ尊キハナく、美キハ徳ヨリ美ナルハナシ。釋門、

⁵⁸ In view of the *okurigana reba* the character must here be read *suru*, not *nasu*.

『ギャディカウ』ニロク、「太子、ワガ邦、ソノ聖知ヲ称ス。シカウシテ、今云フ、『釋迦ノ弟子トナシ、孔子ノ弟子トナサズ(Gezien de *okurigana* die in het tweede geval gegeven worden, lijkt mij dit toch de beste lezing.)』、ト。モシ、コノ言ヲ信ゼバ、スナハチ、太子ノ聖、膳氏ヲ妃トナシ、男女ナクハアルベカラズ。山背ノ大兄ノ王ハ太子ノ子ナリ。父子ナクハアルベカラズ。推古ヲモテ天子トナス。君臣なクハアルベカラズ。余、疑疑フ、コレ、ケダシ、太子ノ言ニアラザルヤ。」

論ジテ白ク、「釋教途ヲ多クシテ、出家ハオノヅカラ、コレ、ソノ一法ナリ。 薙染ハ、タダ、小乗ノ儀ナリ。大乗ニハ、スナハチ、心ヲ主トシ、相ヲ言ハズ。カツ(2:8ウ) 登地以去ハ、沙門ノ形ナシ。『大論』ニ曰ク、『佛ノ弟子ニ七衆アリ。ソノナカニウ系楽塞、優婆夷ハ、スナハチ、在家ナリ。太子、君アリ、妃子アリテ、シカモ釋迦ノ弟子トナスハ、ナンノ怪キカ、コレアラン。」

『神社考』ニロク、「太子、佛氏ニ淫シ、ワガ道ヲ知ラザルヤ。吁。 太子ヲシテ儒ヲ好ムコト、佛ヲ好ムガゴトクナラシメバ、民、今ニ至リテソノ徳ニ頼ラン。惜キカナ。真ニ惜ムベキカナ。」

-

 $^{^{59}}$ The text has 齊, but here and elsewhere this character is also used for 斎. We have transcribed accordingly. For the compound see Mor. XII: 48565-9.

⁶⁰ The reading of this character is problematic. Neither the obvious *teru*, nor any of the other possible readings listed in *Daijigen* quite fit the context. We finally decided for *hikari*, which is listed there as one of the readings attested for the Nara and Heian Periods.

論ジテ白ク、「太子、年十四ニシテ、韓貢ノ学ヲ揚ゲ、和訓ヲ付ケ、ワガミシンテ韓ニ通ジ、韓人ヲシテワレニ通ゼシム。同年、儒学ヲ興シ、群卿ヲ集メ、博士学帶ヲシテ儒書ヲ講演セシム。物部ノ大連、大ニ怒リテ、学哿ヲ訶シテ(2:9オ)日ク、『ワガニン・リ。孔丘、孟軻、狗ヲ食フ夷人ナリ。ナンゾ神上61ヲ知ラン。今ヨリ以後、異虚ヲ入ズ』、ト。諸臣、皆、退ク。学哿、血ニ泣く。太子ノ白フ、『時、未シ。マサニュルベシ』、ト。コレニヨリテコレヲ思フニ、太子、コレ本朝ノ儒宗ナリ。シカレドモ、ナホ、ソレ膚淺ニシテ、民ノ福少シ。ユヱニコレヲ厚ウ62セズ。実ニモテ佛ヲ好ムガゴトクセバ、スナハチ、儒、大ニ興ランコト必セリ。道春ガ羨惜シ、嫉恨スル所以ナリ。」

『神社考』ニ白ク、「世俗ノ称スルトコロ、信ズベキモノアリ、疑フベキモノアリ、排スベキモノアリ。太子ノ『未来記』、ワレ、初メ、コレヲ疑フ。世、イマダカツテコレヲ見ルモノアラズ。(2:9ウ)コレマタ、浮屠誇説ノコトノミ。ソレ、讖緯術數ノ63、聖人、排スルトコロナリ。太子、コレを作ルトイヘドモ、信ズベカラザルナリ。イハンヤ、コレナキヲヤ。タトヒ64コレアルトモ、マタ、後世、言ヲ太子ニ託スルナリ。」

論ジテ白ク、「世ノ傳へ言フモノ、勝ゲテ計ルベカラズ。摩尼、空ク名ヲ聞キ、 ッションボウ 藤鳳⁶⁵、ダレカ実ヲ見ル。シカレドモ、世、誕ヒザルコトノ由来遠シ。太子ノ『未来記』、 ソノ見ザルヲモテ、ナンゾ、コレナキトナサンヤ。讖記、往々史籍ニアリ。佛典ニコレヲ

 $^{^{61}}$ A compound 神上 exists (see Mor. VIII: 24673-273), but the various meanings and readings given there (private era name of a leader of the Yellow Turbans; *kamiage*, *kamiagari*) do not fit the present context. The most likely explantion seems to be that in this case the character 上 in 神上 is an honorific; compare ani-ue = "elder brother." N.B. The word does *not* occur in the passages of *Taisei-kyō* quoted above.

 $^{^{62}}$ Atsuu instead of the regular atsuku! Is this the Kansai dialect asserting itself? Anyway, we see no other way to read the okurigana u.

⁶³ The *okurigana no* is unmistakable; its function is less clear. It seems to mark the subject.

⁶⁴ For this reading of the compound 設使, see Mor. X: 35293-73.

⁶⁵ A contraction of 麒麟 (unicorn) and 鳳凰 (phoenix).

懸記ト謂ヒ、ヨク預メ、モテ告グルモノナリ。太子ノ神聖、ナンゾ、コレナキヤ。 詩ニ 日ハク、『聖人ハ、未然ヲ知ル』、ト。『禮記』ニ(2:10オ)日ク、『至誠ノ道ハ、モテ 前知スベシ』、ト。シカルニ、太子、コレヲ作ルトイヘドモ、信ズベカラズと謂フナリ。ソレ、孔子ノ言モ、定哀ニ行ハレズ、子西ニ忌マレ66、儲ヲ粒維ニ取リ、毀リヲ叔孫ニ ヹ゚ケリ。コレラ、皆、孔子ノ不善ニアラズ。道春、太子ヲ信セズ、毎々コレを過議スルモ、マタ、ソノ類ナリ。

論ジテ白ク、「凡天地、ワレト同根、万物、ワレト一躰ナリ。同根ヨリ出デ、ソノ
躰ヲーニスルモノ、ナンゾ分テ殺サンヤ。イワンヤマタ、修多羅ニ説クニ、『生々
世々、親トナリ、子トナリ、禽獣トナリ、ソノ生ヲ経ザルト云フコトナシ。(2:11オ)鳥獣
タルトイヘドモ、生々ノ親子ナリ』、ト。ナニソレ、憐マザランヤ。ソノ生々ノ親子、ナホ
憐ム。イワンヤ、今生ノ親ニオケルヲヤ。シカルニナホ、晨昬區々ノ養ヒノゴトキコトハ、共二、輪廻ノ業ヲ作リテ、同ク、永劫ノ苦ミニ沈ム。ユヱニ、一形身ノ養ヲモテ、

.

⁶⁶ The character 見 here functions as an auxiliary of the passivum.

シンカウ ホトケ オシ アイ サ イヘ ゼンポン シウ シキシン スク 真孝トナサズ。佛、教へテ⁶⁷、愛ヲ割キ、家ヲ出デ、善品ヲ修シ、識神ヲ救ハシム、マ タ、大ナラズヤ。イハユル『大行ハ、細謹ヲ顧ミズ、大礼ハ、小節ヲ辭セザル』、トイフ モノナリ。大伯、大王ヲ捨テテ、荊蛮ニ逃グ。孔子、美メテ、至徳トナス。イマダカツテ、 まテ、父ヲ廢ツト曰ハズ。佛氏、身、高ク、大方ヲ踏ミ、 志 、遠ク、(2:11ウ)物表ニ カンジャウ スク ニン マンギャウ シウ ク ワス 出デ、群生ヲ救フヲ任トナス。万行ヲ修シテ、苦ヲ忘ル。経ニ曰ク、『ワレラト衆生ト、 ミナトモ シャウブツタウ 皆共ニ、成佛道』、ト。物ニ及ブモノ、カクノゴトシ。ナニソレ、父母ヲ廢テン。身ヲ虎狼 トゥ ニク ブンバゥ クラハ オル ダイシ メンタン コンキ ニ投ジ、肉ヲ蚊虻ニ餧スモノ、物ノタメ已ヲ忘ルル、大士ノコトナリ。釋尊の因位、ソ ノコトアリ。釋尊ハ、大覚ト名ク。流光、編ク燭ラス、大千二通ジテ、化ヲ開ク。聖中 がプロスター カ コ ミライ ドウケン グンザイ シャカイ ツウレウ の大聖トナス。過去、未來、洞見セズト云フコトナシ。現在、沙界、通了セザルナシ。 シカルニ、道春、佛ヲ愚ト云フハ、ソノナンノナストコロゾ。一切ノ重罪ハ、懺悔スベク モ、佛ヲ謗ルの罪ハ、懺悔スルコトアタハズ。罪状、経説、寔ニ繁シ。(2:12オ)、今、 コトニト イテ キセィ ヒーーンイ 悉ク出サズ。犠牲ノコト、盛礼トイヘドモ、ソノ止ムコトヲ得ザルノ古儀ナリ。ユヱニ、 コケン 古賢ノ云ハク、『君、ソノ礼ヲ存セバ、スナハチ、コレヲ廢ストモ、マタ、可ナリ』。コレモ テ、梁武帝ハ、犠、麪ニ換へ、野見宿禰ハ、殉、土ニ換フ。皆、ソレ法ヲ存ズルユ エンナリ。千載、モテ、美トナス。『左氏』ニ曰ク、『イヤシクモ、明徳アラバ、スナハチ、 ^{グン ツツシ シタガ} 賢の言、欽ミ従フベシ。『礼ニ云ク(*ha* kan weg.)、玉帛ヲシモ云ヘヤ』、ト68。真ノ礼

 $^{^{67}}$ The character 教 is here used to indicate a causative, which is realised in the final verb, sukuwashimu. In view of the unmistakable $okurigana\ te$, it seems that we also have to read the character as oshiete. The usual reading, $...\ wo\ shite$, is not possible through lack of an object..

⁶⁸ We have read this quotation according to the *okurigana* in the text of *Bengi*. These *okurigana* are strange. The usual reading of this passage would be *Rei to iu. Gyokuhaku wo iwan ya*. *Rei ni iwaku* could only mean "As it says in the *Liji*," but that interpretation could hardly be right, unless we suppose that Jakuhon did not know he was quoting the *Lunyu*. The *ie ya* at the end can be interpreted as *izenkei* + *ya*, which construction realizes a rhetorical question: "Do you really talk about ...?"

義、アニ、犠牲ニ止ランヤ。盛礼、ナホカクノゴトシ。イハンヤマタ、毉薬ニオケルヤ⁶⁹。 ナニソレ(2:12ウ)殺スヲモテセンヤ。」

『神社考』ニ白ク、「仁者ハ、天下ヲ得ルトイヘドモ、イチフュコロサズ。シカモ、殺スト殺サヌト、マタ仁中ニアリ。程子、蝎ノ頌ヲ作リテロク、『殺ストキハ、スナハチ、仁ヲガイシ、放ツトキハ、スナハチ、義ヲ害ス』、ト。仁義、アニ果シテニナランヤ。殺不殺ノ理ヲ如ラント欲セバ、先コノ頌ヲ着ヨ。」

論ジテ白ク、「『仁者ハー不辜ヲ不殺ズ』、ト。シカレバ、スナハチ、犠牲ノ鳥獣ニオケルヤ、鳥獣、ナンノ辜カアルヤ。マタ、ソノ不辜ヲ放シテ、ナンノ義ヲ害スルヤ。コレヲ殺スモノ、ツイニ仁トナスベカラズ。程子ガ言、ナンゾ(2:13オ) 是ト定ン。程、邪誠ノ語ヲ出スモノ、多ラズトナサズ。静齋逃虚ガタメニコレヲ非セラル70。道春、タダ、泰山ノゴトクス。愛慕ノ私ナリ。人、公トナサズ。

 $^{^{69}}$ The final 也 is strange. In view of the 況復 at the beginning, one would expect 乎 (wo ya) at the end. That we read the character as ya, as if it were a question particle, is through lack of a better suggestion. 70 The character here functions as an auxiliary of the passive.

或ト言フハ、ワレ、太子ノタメニ 甚 コレヲ恥ヅ。」

ロン イハ ロクサイニチ セツブン マコト シゲ タイシ イ 論ジテ日ク、「六齋日ノ説文、寔ニ繁シ。太子ノ言フトコロ、『四天王経』オヨビ 『六齋功徳経』ノ説ノゴトシ。コノ時、太子、生マレテ六歳ナリ。経、イマダ渡ラズ、六 った。 ボンテウ では、 本朝、イマダ間カザルトコロナリ。コレ、ソノ一竒ナリ。六齋ノコト、 『大智度論』ノ演ズルトコロヲ案ズルニ、曰ク、『佛法ノナカノゴトキコトハ(2:14オ)日 ニ好悪ナシ。世ノ悪日ニ隨ヒ、縁ヲ開キテ、ユヱニ持齋ヲ教フ』。『コノ日、悪鬼、人ヲ ケダシ、六日ヲ取ルコトハ、三長月ノゴトシ。神ニ日分アリテ、コノ六日、ソノ悪神ニ當 ル。ユヱニ、コレヲ齋ム。コレタダ在家ニ示スモノナリ。出家ノゴトキハ⁷¹、長時齋戒ナ リ。在家モマタコレニ限ラズ、アルイハー日二日ナイシ半月、ソノ堪ユルニ隨ヒテ齋戒 ス。『礼記』ニ曰フガゴトク、『齋ヲ致スコト三日ナルモノヲモテ清明ノ徳トナス』、ト。コ レ在家ノ放蕩トシテ(2:14ウ)長時ナルコトアタハザルユヱンナリ。六齋ノコト、道春、 ッシッ キ 謾ニ議ス。カツ、太子、敏達推古ニ告ルニ、仁義ノ政ヲモテセズト云フヲ議ス。ケダシ、 太子、仁義ヲモテ必(カナ)ラズシモ治道トナサズ。シカルニナホ、初メ儒教ヲ興シ、 シフシチデウケンパフ 十七條憲法トウノゴトキ⁷²モノ、皆、國家ノ治体ニ備ル。精要見ツベシ。必ラズシモマ タ六齋ニ止ラズ。道春、コレヲ知ラザルニハアラズ、知リテ掩フノ姦ナリ。モシマタ、 太子、仁義ノ教へナクシテ、六齋ニ止ルトイフトモ、モテ國政ニアラズトナサズ。宋文 ノ、『國人、皆、善ナルトキハ、スナハチ、拱キヲ垂レテ治ヲ致サン』、ト云フユヱンハ コレナリ。治、ナンゾ必ラズ仁義ニ止ランヤ。上古、仁義(2:15オ)ノ名ナク、世、

⁷¹ The *okurigana* are unclear. We have no explanation for the repeat sign.

 $^{^{72}}$ The *kaeriten* indicate ... *kenpō no gotoki tō no mono*, but this order cannot be correct. 等 should follow immediately after *kenpō*. We have read the passage accordingly.

『神社考』ニ曰ク、「太子、前斐ノ驪駒ニ乗り、富士ノ嶽ニ上ル。〇コレ、桑ガ 訝 ルトコロナリ。世ノ太子ヲ襲美スルモノ、毎 と 過誇シテ、ソノ実ヲ鑠スコト、惟フニ、 少 カラズ。太子、 昔 龍 重ニ駕シ、隋國ニ入り、南岳舊房ノ法華經ヲ取り、虚空ヲ凌ギテ日本ニ帰ル、ト。スナハチ、愈 疑ヒ、愈 訝シ。余、(2:15ウ)アニ信ぜんヤ。案ズルニ、釋迦ノ譜、ソレ、浄飯王宮ニ託誕シテ悉陀太子トナリ。十九年中、種 と ノ祥瑞神変 73、勝ゲテ數フスベカラザルナリ。カノ聖徳太子ノ傅ヲ撰ブモノモ、マタ、ケダシ、悉陀太子ノ譜ヲ見テ、羨慕シテ相似セタルノミ。」

『神社考』ニ白ク、「守屋ノ佛ヲ廢スルハ、ワレ、神國タルヲモテナリ。馬子ノ佛ヲ崇ム

ジンギ ベッジョ
ルハ、神祇ヲ蔑如スルナリ。穴穂ハ皇子(クワウシ) Geen nigori!ナリ。推古ハ皇女ナリ。

_

 $^{^{73}}$ The character could be read かえって, but that makes no sense here. We have therefore chosen to emend it to following the text in *Nihon shisō tōsō shiryō*.

⁷⁴ The *okurigana* looks like *so*, but that makes no sense. The intended sign will have been *wo*.

⁷⁵ In view of the *okurigana shite*, the usual reading *izukunzo* cannot be followed.

穴穂ヲ立ツルヲ是トセンヤ、推古ヲ立ツルヲ是トセンヤ〇馬子、デジュシスペス。太子、ナンゾ、馬子ニ黨シテ、賊ヲ討タザランヤ。因循トシテ、モテジグフ。スナハチ、馬子ノ罪モ、マタ、分ツトコロアランヤ。」

ロン イハ モリャ がケーハイ 論ジテ曰ク、「守屋ノ佛ヲ廢ルハ、ワレ、神國タルヲモテナリ。シカウシテ、ソノ 異教タルヲ嫌ハバ、(2:16ウ)儒モマタ、同ジキナリ。道春モ、マタ、コレヲ是トセンヤ。 カマコ クジキ シウ ジンギ サンジュツ 馬子、『舊事紀』ヲ脩シ、神祇ヲ讃述ス。イマダ、神祇ヲ蔑如スルコトアラズ。守屋ノ神 是非ハ、史籍ノ存ズルトコロナリ。守屋、佛ヲ廢ス。道春、モテコレヲ愛シテ、ソノ悪ヲ *** 掩フ。馬子、佛ニ奉ズ。道春、モテコレヲ憎ミテ、ソノ悪ヲ揚グ。ソノ推古ヲ立ツルハ、 アネ 姉ナルヲモテナリ。天照太神、女トイエへどモ、宗庿ニ 与 レリ。ソノ崇峻ヲ弑スル ヤ、崇峻、馬子ヲ悪ンデ⁷⁷、『猪ノ頸ヲ斬ルガゴトク』、ト云フ。禍、君ヨリ出ヅ。 『孟子』ニ曰ク、『君、臣ヲ視ルコト、土芥ノゴトキナレバ、臣、(2:17オ)君ヲ視ルコト、 電量ノゴトシ』、ト。朱ガ云ハク、『土芥、スナハチ、コレヲ践踏スルノミ。コレヲ斬艾ス ルノミ。ソノコレヲ賤悪スルコト、マタ 甚 シ。 冦讎ノ報モ、マタ、宜ナラズヤ』、ト。シカ レドモナホ、対、暴、武、仁ニアラザレバ、スナハチ、罪ヲ免ルルコトヲ得ズ。太子ノ マワジョ 宥恕スルハ、ソノ私ヲモテ、後世ノ醜ヲ貽スベカラズ。ケダシ、初メ、守屋、穴穂ノ ヮゥゞ 王子ヲ立テント欲シテ、用明帝ヲ咀シテ、帝夭シ、マタ諸王子ヲ誅シテ、穴穂ノコトヲ 成サント謀ル。コト發ハレ、馬子、諸王子ト謀リテ、守屋ヲ伐ツ。馬子、功アリ。シカル ニ、マタ、誅、馬子ニ及ババ、高鳥盡キテ良弓蔵メ、狡兎死シテ良狗烹ラルルモノ

⁷⁶ Again, with the usual readings of the character 課, the *okurigana -ku* cannot be explained. We have therefore decided to ignore it, and to read *kami wo hakaru*. Cf. above, notes 2 (課虚) and 24 (課神慮).

⁷⁷ An unexpected element of the spoken language, but the *okurigana* specify the ending *-nde*.

(2:17ウ)ナリ。カツ、馬子、大家ナリ。天下、騒動止ムベカラズ。コレヲ忍ブトキハ、スナハチ、天下ノ害ヲ止ム。ソレ、道ハ、法ノ本ナリ、法ハ、道ノ枝ナリ。法ヲ在ゲテ、道ヲ存ズルハ、聖者ノ取舎ナリ。『舜、天子トナリテ、皐陶、土トナル。瞽瞍、人ヲ殺シ』、、陶、コレヲ執ラへ、舜、馳テ乞シ⁷⁸、法ヲ枉テ道ヲ存ズルモノ、コレナリ。犬馬モッカルルアレバ、スナハチ、君子ョク整⁷⁹ム。カツ馬子、偉器ナリ。國史ノ命ヲ奉ジテ、ポル。アニ、千載ノ盛事ナルモノナランヤ⁸⁰。道春、タダソノ私ヲモテ、容易ニ議ス。マタ、『安昌、玄同ヲ殺スノ論』アリ。太子、馬子、安昌ヲモテ(2:18オ)日本ノ三賊トナス。太子、馬子、佛ニ奉ズルヲモテコノ獍言ヲナス。ナニソレ、如害ノ甚キヤ。」

『神社考』ニ曰ク、「アルヒト、マタ、間ヒテ曰ク、『太子ノ曰フ、神道ハ、根本ナリ。儒道ハ、枝葉ナリ。佛道ハ、花實ナリ』、ト。点、答ヘテ曰ク、『コレ、太子ノ言ニアラザルナリ。後来、ト部、中臣ノ託スルトコロナリ。太子、獻王好古ノ心ナク、蕭衎講經ノ質アリ。と、太子ヲシテ神ヲ好ムコト、佛ヲ好ムガゴトナラシメバ、スナハチ、アニ、多少ノ財ヲ費シテ、若干ノ寺ヲ立テンヤ。儒ニ奉ズルコト、釋ニ奉ズルガゴトクセバ、スナハチ、ナンゾ、篇ク三宝ヲ信ズルト謂ハンヤ。タダ、佛ヲ(2:18ウ)根本トナシ、神儒ヲ技なアトナサンコト、ケダシ、太子ノ意ナラム。アア、寺院ヲモテ学校トナシ、佛事ヲサイシ、コレニ教フルニ、孝弟ヲモテシ、コレヲ勧ムルニ、忠誠ヲモテセバ、スナ

 $^{^{78}}$ We have interpreted *-shi* as the *rentaikei* of one of the auxiliaries of the past tense, used here as the substantified form of the verb: "the fact that ..." . The phrase is resumed in the following *kore nari*. N.B. Another interpretation would be to see *-shi* as the *renyōkei* of *suru*, added to to form a verb *kis-suru*.

 $^{^{79}}$ Morohashi IV: 11099 only gives the reading さとい for this character. However, according to Jakuhon's *lji-hen*, this character is an *itaiji* of 愍 (あわれむ); see *lji-hen* 2:1b. See also such websites as http://glyphwiki.org/wiki/u615c. This reading fits the *okurigana* \triangle that Jakuhon gives.

 $^{^{80}}$ Mor. IX: 28853-16 reads the two characters 者數 as sha-ka, and glosses them as $mono\ de\ arar{o}\ ka$. The combination "expresses a doubt or an elegiac exclamation in relaxed, tranquil manner." As a rule, ani introduces a rhetorical question that expects a negative answer, but in this case, as in a few other cases in Bengi, it is used to express a supposition that expects a positive answer.

ハチ、神道人道、アニ、ソレニナランヤ。惜キカナ、太子ノカクノゴトクナラザルコト。』」

論ジテ白ク、「太子、生レテ七歳、敏達天皇、ソノ生才ヲ感ジ、儒釋ノ言ヲ問フトキニ、太子、コノ言アリ。カツ、芝教一種ノ釋文アリ。道春、毎さ相怪ム。古ニ云ク、『疑ハ事ノ書ナリ』、ト。実ナルカナ。カツ、太子、方袍ヲ著、経義ヲ讃ジ、寺像ヲペルモノ、(2:19オ)ソレ、願ニ駕シ来るルユヱンナリ。モシ81、神道ニオケルヤ、初メテ、神家ノ学ヲ立テ、詔ヲ奉ジ、蘓馬子ヲシテ、神代ノ事迹ヲ集録セシム。シカレバ、スナハチ、太子ハ、神道ノ啟迪ナリ。ナニソレ、神ヲ好マズトナサンヤ。寺院ヲモテ学校トナシ、孝弟ヲ教へ、忠誠ヲ勧ムルモノ、カレ、モテ美トナス。ワガ教判、ニアチュウシ、オーニノ住心ノ分齊ナリ。ナホ、小乗ノ声縁ト競ハズ。太子ノ洪烈、道春ノ所知ノ域ニアラズ。」

『神社考』ニ日ク、「案ズルニ、世ニ称ス、南天竺ノ菩提達磨、日本ニ来リテ太子ニ遇フ。ユヱニ飢人ヲモテ達磨トナス。ソノ埋メルトコロヲ謂ヒテ達磨墳トナス。余謂クラ、(2:19ウ)コレ達磨ニアラザルナリ。ケダシ、浮屠好事ノモノノ為82ニシテ、後生、治薬シテソノ非ヲ悟ラザルノミ。余、『日本紀』トウヲ見ルニ、タダ、太子ト云ヒ、飢人ト云フノミ。イマダカツテ達磨ト云ハザルナリ。ソレ、コノ飢者、真ニ異人ナルカナ。欲スルハ、太子ヲシテ礼ヲ執リ敬ニ居リテ、天下ノ士83ニ下ラシメン、ト。ソレ、太子、素ヨリ株品レルモノニアラズ。シカルニ、異人、ナホ、ソノ警戒ヲ垂ルルノミ。下邳ノ老人、

⁸¹ Whatever the reading should be (*moshi*, *gotoshi*), the function of the particle 若 here is "particle of exposure" ("as to," "as for"); cf. Dobson, *A Dictionary of Chinese Particles*, p. 572 (*ruoh* 3.10).

⁸² The text in Nihon shisō tōsō shiryō glosss this character as shiwaza. We have followed this reading.

⁸³ The character \pm in the text of *Nihon shisō tōsō shiryō* undoubtedly makes more sense than \pm . We have transcribed and translated accordingly.

張良ヲシテ履ヲ進メシメ、モテ、異書ヲ授ク。遂ニ黄石ヲ穀城山下ニ得タリ。今、コノ
カタオカ 片岡ノ飢人、太子ヲシテ馬ヲ下リ食服ヲ与ヘ、和歌ヲ酬シ、モテ紫衣ヲ槨上ニ遺サ
シム84。彼此一時ナリ。神異一(2:20オ)同なり。太子ニ遇フニアラズンバ、スナハチ、教戒ヲ垂ルルコトナク、神異ヲ顕スニアラズンバ、スナはチ、後生ニデスコトナカラン。」

論ジテ白ク、「片岡ノ飢人、達磨トナスコト、ソノ名ヲ載セヌノ書ヲモテ、コレヲ整シ、ソノ名ヲ載セタルノ書ヲモテ、コレヲ管セズ。世ノ傳フルトコロノ書、ソノ取捨、株代 ガゴョウニイス。 會ハスルニ、居多ノ言ヲモテス。太子ヲモテ日本ノ賊トナストイへドモ、ツイニ誣フルコトアタハズ。今ハ、マタ称ス、飢人ヲモテ異人トナス。穀城山下ノ黄石ヲ引ケリ85。右ノ人ニ出ヅルコトハ、ナニソレ怪マザランヤ。磨師ハ人ニシテ(2:20ウ)活路門ヲ出入スルノ権化ナリ。怪ムベかラザルモノヲ、コレヲ怪ミ、ソノ怪ムベキモノヲ、コレヲ怪マザル、皆、私ノ権フトコロナリ。」

(2:20ウ)

『ジンジャカウ』 ニロク、「ワガ邦、古ョリ天狗ト称スルモノ多シ。皆霊鬼ノウチ、ソノ較著セルモノヲ相称シテ、天狗トロフ。ソノ類中、鞍馬ノ僧正ヲ巨魁トナス。世ノ称スルトコロノ鞍馬ノ僧正、愛宕ノ太郎、比良山ノ次郎、伊都那ノ三郎、富士ノ太郎、上野ノ妙義ナリ〇コレラノ類、 甚 繋 シ。アルいハ狐トナリ、アルいハ童トナリ、アルイハ鳩トナリテ飛行シ、アルイハ僧トナリ山伏トナリテ人間ニ出デ、アルイハ鬼神ノ貌トナリ、ア

⁸⁴ The *kaeriten* indicate that 令 governs the four succeeding verbs (下, 食, 酬, and 遺), but this conflicts with the story as it is told in *Nihon shoki* 22. The Crown Prince gave his cloak to the starving man while he was still alive. He then was buried with it, and when the coffin was opened several days later, the cloak was found lying on the coffin. *mote shie wo kaku no ue ni nokosu* would, therefore, be a better reading.

⁸⁵ The *okurigana ri* can only be accommodated if we assume that the verb *hiku* is in the past tense that is formed by the contraction of the *ren'yōkei* of a verb of the *yodankatsuyō* with *ari*.

ルイハ佛菩薩ノ相トナリテ(2:21オ)時と出現ス。ソノ説ニ曰ク、『人ノ 福 ヲ見レバ、 スナハチ、轉ジテ禍トナシ、世ノ治ルニ遇へバ、スナハチ、マタ乱トナス。 アルイ カサイ オコ トウサウ オコ レキダイ テンシ サヌキノイン コンジキ オホトビ ハ火災ヲ發シ、アルイハ闘争ヲ起ス。歴代 天子ノウチ、讃岐院ハ金色ノ大鳶トナリ。 タケイチデャウョ ゴトバノイン カミ カブ チャウヨク シャモン ゴダイゴノイン カウヒコウサウ ワウ 長一丈餘。後鳥羽院、髪ヲ被ル長翼ノ沙門トナリ、後醍醐院、高鼻勾爪ノ王トナル。 マタ、沙門ノ慢心オヨビ怨怒アルモノ、多ク天狗ノナカニ入ル。イハユル傳教、弘法、 ジュクー テンョウ 慈覚、智證ラ、皆、コレナリ。○慈恵ハ甲冑ヲ著テ、三井寺ヲ攻ム。覚鑁ハ造作魔ノ ココロ エ デンボフィン イトナ ゴ タフノミネ ハウトウホフシ キャウゲン 心ヲ得テ、傳法院ヲ営ム。ソノ後、多武峯ノ方等法師、狂言シテ曰ク、「ワレ、(2:21 ウ)コレ覚鑁ナリ」、ト。目ヲ怒シ人ヲ睨ム。マタ、和州ノ堯信、天狗ノ言ヲ為リテ、慶円 った。 ニ告テ曰ク、「ワレ、コレ中院ノ僧都ナリ。ワガ徒、神力アルモノ三百餘類、人ノ死ヌヲ トコロナリ」』、ト。 ソノ説ニマタ曰ク、『ワガ輩、アルヒトハ法然、日蓮トナリテ、自廢 他廢ノ慢ヲ發シ、アルヒトハ栄西トナリテ、京城ニ飛廉シ、アルヒトハ普門トナリテ、 リョウサン エンビ ホイノチヒンカン テンシ スス ヘイソク ウ がンコウ 龍山ニ魘魅シ、アルヒトハ小野文観トナリテ、天子ニ勧メテ平族ヲ討チ、元弘ノ乱ヲ 起シ、アルヒトハ疎石妙吉トナリテ、尊氏直義ヲヲシテ、同胞ノ恩ヲ失ヒ、師直師(2: 22オ) 泰ヲシテ、君臣ノ礼ニ乖ラシム。コレラ、皆、ワガ輩ノナストコロナリ』、ト。○ デャウワゴネン デワノクニハグロサン 貞和五年、出羽國羽黒山⁸⁷ノ山伏、名ハ雲景ト云フモノ、マサニ天龍寺ニ往カントシ テ、老山伏ニ西郊ニ遇フ。雲景、コレト愛宕山ニ登ル。一座ノナカヲ見テ、異僧アリ。 カレ告ゲテ日ク、『コレ、イハユル玄昉、真濟、寛朝、慈恵、頼豪、仁海ラナリ。ソノ ジャウザ 上坐ノ人とハ、淡路ノ帝、井上皇后、あるいハ袞龍ヲ著、アルイハ金笏ヲ持ツ。

⁸⁶ Both 撓 and 嬈 can be read *midasu*, but 嬈 also has readings such as *wazurawashii* and *tawamureru* (Mor. III: 6734), which would fit the context. On the whole, therefore, 嬈 seems preferable. Unfortunately, a compound 嬈害 is not attested.

⁸⁷ We have inserted a second character μ on the strength of the text in *Nihon shisō tōsō shiryō*.

ロン イハ ダウシュン アクゲン ハナハダシ 論ジテ曰ク、「道春ガ悪言ノ 甚 キモノ、ナンノ心ヲモテシカルヤ。聞ク人、ダ ェラ レカ蘭88バザランンヤ。天狗ノコト、世俗ノ浮説ヲ取リテ、鞍馬ノ僧正ヲ巨魁トナスト云 フ。一書ヲ見ルニ、曰ク『素盞鳥ノ命、猛氣、胸腹ニ滿チテ、餘リテ、吐物トナリ、化 シテ、神トナル。 姫神ニシテ、威強ナリ。 人身獣頭、鼻長ク牙長シ。 善神ノ計ルトコロ、 たニ在ルモノヲモテ、早ク逆ヒテ、右ニセント謂フ。ミヅカラ名ノ(Je weet zeker dat je de/niet liever *op* het karakter hebt?)リテ、天逆毎姫ノ命ト云フ。<天狗⁸⁹ト同ジ>』、 ト。道春、(2:23才)多ク、『太平記』ニヨリテ、童子戯弄ノ草子ヲ取ル。カレ、怪ナル コトハ、スナハチ、怪ナリ。怪ヲ嫌ヒテモ、マタ、怪ヲ取ル。ソノ移リ易キモノハ、スナハ チ、私心ノシカルナリ。カレ、『太平記』ヲ信取ス。シカラバ、ソノ言フトコロノ、結城 ニフダウ ジゴク シン 入道トウガ地獄ノコトヲ信スベシ。オヨソ、『太平記』ノ俗間ノ評判、寔ニ繁シ。道春、 ナホ、コレニ架ケテ、傳教、弘法(コウボフ)ヲ初メトシ、諸宗ノ祖師、徽声ノ高僧、皆、 天狗トナス。コノ高僧タチ90、聖朝二出デテ、風化ヲ助ク。アルイハ迹ヲ異域ニ印シ、 法ヲ本朝ニ傳フ。遺烈、実ニ遠ク、実ニ高シ。数百ノ歳華ヲ歴テ、國界頎奉シ、ソノ た、イクセンマン 徒、幾千万ニシテ、(2:23ウ)本朝ニオケル⁹¹ヤ、路頭ノ孩児トイヘドモ、欽マザルト

00

⁸⁸ For our decision to read this characteracter as *erabu*, see above, note 55.

⁸⁹ This reading of the characters *tengu* is specified in the text with *furigana*.

⁹⁰ This reading of the character 等 as *tachi* is specified in the text with *furigana*.

⁹¹ The *okurigana* after that character 於 is incomprehensible; we have therefore decided to ignore it.

『神社考』ニロク、「近、桑門崇傳ト云フモノアリ。ミヅカラ言フ、『ワレ、太元明王ノ法 ヲ習フ。コレ吉備大臣ノ秘授スルトコロニシテ、世人、知ルコト希ナリ』、ト。〇 余、恐ルルハ、世人、コレニ惑ハンコトヲ。」

論ジテ白ク、「太元ノ法ハ、小栗栖ノ常暁、入唐シテ、傳ルトコロ(2:24オ)ナリ。像、軌、供、規、光、深奥トナス。ソノ、吉備大臣ヲ云フ等、正法ニアラズ。カクノゴトキノ類、勝ゲテ數フスベカラズ。古徳、弁析アリ。コレラノコトヲモテ、話ニ寄スル、妖優94ノ輩、今世トイヘドモ、ナホ多シ。皆、正宗ニ与カラ95ズ。ソノ邪ハ、人ニアルノミ。翅、佛法ノ中ニノミシカルニアラズ。諸道ニモマタアリ。

神社考辨疑巻下終」

 $(2:24\dot{7})$

シャウトクロクヒノエサルチュウシュンヒ □正徳六丙申仲春日」

 $^{^{92}}$ 録 ("records") must be a mistake for 禄 ("official salary"), otherwise, the expression 食公録 would not make sense

⁹³ The reading of the character 渠 is specified in the text with *furigana*.

 $^{^{94}}$ This character (Mor. X: 36972) is the original character of \mathfrak{F} . The compound $y\bar{o}gan$ is not attested in the dictionaries.

⁹⁵ The *okurigana ka-fu* cannot be correct. We have interpreted them as *ka-ra*.

キャウテラマチゴデウフルカワサブロベエ 京寺町五條古川三郎兵衛」

□□書林

工戸通町十軒棚同進七』